



モスクワ日本人学校

しらかば

第14号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数122名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>



平成30年度 卒業証書授与

レンガを積む

卒業生に、インソップ童話の一部を引用して「志」を掲げて歩み続けることの大切さを伝えました。

旅人が町にさしかかると、三人のレンガ積み
の青年が仕事をしていました。最初の青年に
「何をしているのですか?」と聞くと、青年は
答えました。

「レンガを積んでいるのです。」

旅人は、その青年に「大変ですね」と慰めの
言葉をかけました。二番目の青年は、一生懸命
レンガを積んでいました。そこで、また旅人は、
「ここで何をしているのですか?」と尋ねまし
た。すると、その青年は答えました。

「大きな壁を作っているのです。」

旅人は、その青年に励ましの言葉をかけまし
た。三番目の青年は、いきいきと楽しそうにレ
ンガを積んでいました。旅人は興味深く、「こ
こで何をしているのですか?」と尋ねました。
すると、その青年は答えました。

「歴史に残る偉大な大聖堂を造っているの
です。」旅人は、その青年にお礼の言葉を残し
て、元氣いっぱい歩き始めました。

同じレンガを積むという行為です
が、仕事に懸ける思いと向き合う姿
勢の違いで「志」の意味が分かりま
す。そして、三人の十年後や二十年
後を想像すれば、「志」をもつことの
大切さがはつきりしてきます。

「夢は何か?」と尋ねられて、「と
くにない」と答える若者を嘆く人が
います。ですが、それを悲観する必
要はありません。夢や希望は人から
与えてもらうものではなく、自分で
もつもの。今夢や希望がないのなら、
これからでもいい。大事なことは、
夢や希望をもち続けること。それは、
形を変えて必ず実現される。譲れな
い夢を実現するために、「よし、○○
する自分になる」と志を掲げて地道
な努力を続けていくことが何より大
切。そう考えるからです。

卒業生にエールを送りながら、子
どもたち一人一人の夢みる力を育ん
でいこうと思いを新たにしています。

校長 石川 賢